

第10回 次世代を担う有機化学シンポジウム プログラム

発表 15 分、質疑応答 10 分

第1日：5月11日（金）

<8:55~9:00 第10回 シンポジウム実行委員長 挨拶>

9:00~10:15

- 1-01 温和な条件下で進行するトリアジン型ベンジル化剤の開発（金沢大院薬）○山田耕平，塚田裕以智，国嶋崇隆
- 1-02 光と分子状酸素を用いる酸化的ラクトン化反応（岐阜薬大）○多田教浩，崔 蕾，石神敬文，三浦 剛，伊藤彰近
- 1-03 *O,P*-アセタールを利用したオキセタン-3-オン及びジヒドロフラン-3-オン誘導体の新規合成法の開発とその応用（阪大院薬）○前川智弘，大竹和樹，廣澤溪一，後藤章広，藤岡弘道

<10:15~10:25 休憩>

10:25~12:05

- 1-04 遠隔立体誘起による立体収束的四級炭素構築（阪大院薬）○鎌田泰正，Moustafa A. I. Gamal，小島直人，田中徹明，好光健彦
- 1-05 複合機能金属触媒によるジオール類の選択的モノアリール化反応（長崎大院医歯薬）○濱口典久，栗山正巳，尾野村治
- 1-06 Electronic Tuning に基づくニトロキシル型酸化触媒の開発（京大化研）○浜田翔平，古田 巧，川端猛夫
- 1-07 触媒的 Conia-ene 反応の開発：シナトリン C₁ の全合成（長崎大院医歯薬）○浦辺郁也，宮本尚平，高橋圭介，石原 淳，畑山 範

<12:05~13:15 昼休み>

<13:15~13:20 化学系薬学部会長挨拶>

13:20~14:30

IL-1 特別講演「イノラートの反応とその展開」（九大先導研）新藤 充先生

<14:30~14:40 休憩>

14:40~16:20

- 1-08 (-)-エンブレリン A の触媒的不斉全合成（北大院薬）○羽成泰貴，嶋田修之，穴田仁洋，橋本俊一
- 1-09 ベンゾフラン類の不斉アザスピロ環化反応を鍵とする fumimycin の合成研究（東北大院薬）○澁田拓郎，佐藤茂樹，澁谷正俊，叶 直樹，岩濑好治
- 1-10 (+)-Aspermytin A の全合成（徳島大院ヘルスバイオサイエンス）○井上敦詞，兼松 誠，吉田昌裕，宍戸宏造
- 1-11 レジニフェラトキシンの全合成研究（東大院薬）○村井耕一，加藤駿一郎，占部大介，井上将行

<16:20~16:30 休憩>

16:30~18:10

- 1-12 *anti* 選択的触媒的不斉ニトロアルドール反応による Zanamivir の不斉合成（微化研¹，東大院薬²）二田原達也^{1,2}，○熊谷直哉¹，柴崎正勝¹
- 1-13 抗 HIV 治験薬 4-エチニル d4T の新規製造プロセス開発（日産化学工業（株））○入山友輔，大塚義和，明星知宏，山崎亜希子
- 1-14 Xanthanolate 類の効率的合成（九大先導研，九大院総合理工）○松本健司，小谷内邦吉，新藤 充
- 1-15 モノフルオロ化合物ツールとしての α -ブロモ- α -フルオロ- β -ラクタムの新規展開（摂南大薬）○樽井 敦，近藤昭志，佐藤和之，表 雅章，安藤 章

<18:30~ 意見交換会>

第2日：5月12日（土）

9:00～10:15

- 2-01 ヘテロ環の環開裂を伴う官能基化：アジド基導入反応を中心に（岐阜薬大¹，ドルトムント工大²，立命館大薬³）○澤間善成¹，緒方祐太¹，柴田恭司郎¹，門口泰也¹，佐治木弘尚¹，Norbert Krause²，北 泰行³
- 2-02 パラジウム触媒を用いた水溶液中でのアリル及びベンジルアルコールの無保護アントラニル酸へのアリル及びベンジル化反応（東邦大薬）○氷川英正，横山祐作
- 2-03 白金触媒を活用したアリルアルコールの水酸基活性化による直接アミノ化及び直接アルキル化反応の開発（¹九大院薬，²阪大院基礎工）○澁谷亮三¹，中原靖人²，Das Kalpataru²，真島和志²，大嶋孝志¹

<10:15～10:25 休憩>

10:25～12:05

- 2-04 アリールリチウムの不斉共役付加を鍵工程とする *trans*-Dihydronarciclasine の合成（京大院薬¹，同志社女子大薬²）○茂木雄三¹，Magdi A. Mohamed¹，高須清誠¹，山田健一¹，富岡 清²
- 2-05 Chimonanthine 及び類縁体の触媒的不斉全合成（東大院薬，微化研）○三ツ沼治信，柴崎正勝，金井 求，松永茂樹
- 2-06 Perophoramidine の全合成研究（京大院薬）○石田貴之，倉橋 慧，塚野千尋，竹本佳司
- 2-07 Bottromycin A2 の全合成と誘導体合成研究（北里大院感染制御，北里大生命研，北里大薬）○小林 豊，市岡真季，廣瀬友靖，山田 健，長井賢一郎，合田浩明，島村寛章，花木秀明，広野修一，大村 智，砂塚敏明

<12:05～13:15 昼休み>

<13:15～13:20 第11回次世代シンポ予告>

13:20～15:00

- 2-08 アザインドール骨格またはフェニルアゾール骨格を有する新規プロテインキナーゼ CK2 阻害剤の開発研究（京大院薬¹，近畿大薬²，大阪府大院理³）○侯 増輝¹，大石真也¹，武井義則¹，安江美里¹，三須良介¹，鈴木大和¹，村田克美¹，北浦和夫¹，平澤 明¹，辻本豪三¹，大野浩章¹，藤井信孝¹，仲西 功²，中村真也²，呉 竜英²，木下誉富³
- 2-09 フッ素含有医薬品開発を指向した、芳香環における位置選択的デオキシフルオロ化法の開発（静岡県大薬）根本裕之，○田窪景太，清水一樹，赤井周司
- 2-10 生体応用を志向した光制御パーオキシナイトライト供与剤の開発と評価（名市大院薬¹，JST さきがけ²，The University of Hong Kong³，京都府医大院医⁴）○家田直弥¹，中川秀彦^{1,2}，Tao Peng³，Dan Yang³，鈴木孝禎^{1,4}，宮田直樹¹
- 2-11 還元的環拡大反応を鍵とする(-)-Mersicarpine の全合成（東北大院薬）○岩間雄亮，岡野健太郎，杉本健士，長 秀連，徳山英利

<15:00～15:20 休憩>

15:20～16:35

- 2-12 (-)-Chartelline C の合成研究（東大院薬）○岩崎浩太郎，菅野廉太郎，横島 聡，福山 透
- 2-13 Sphingofungin E の全合成（静岡県大薬）池内和忠，林 萌未，井戸俊輔，山本倫広，○稲井 誠，浅川倫宏，濱島義隆，菅 敏幸
- 2-14 Furospinosulin-1 由来の新規抗腫瘍活性リード化合物の合成と標的タンパク質解析（阪大院薬）○古徳直之，中田千晶，山田昌樹，河内崇志，佐藤陽紀，荒井雅吉，小林資正

<16:35～16:45 休憩>

16:45～17:35

- 2-15 マルチドメインヘリセンオリゴマーの合成と二量体会合形成（東北大院薬）○一ノ瀬亘，伊藤 潤，重野真徳，山口雅彦
- 2-16 フッ素官能基を持つ対面型ポルフィリン二量体の超分子円二色性を利用する化合物の非破壊的絶対配置決定（明治薬大）○林 賢，高波利克
- 17:35～ 優秀発表賞受賞者発表，閉会挨拶

以上